

令和6年度多職種連携フォーラムアンケート結果

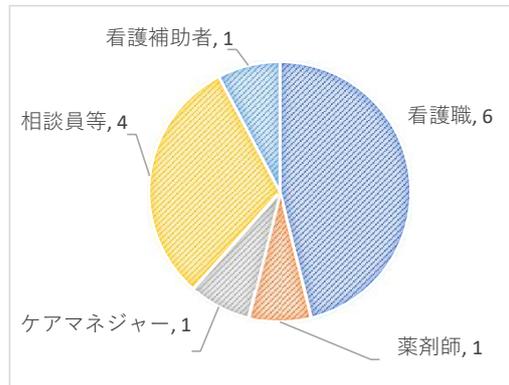
参加者 17名、 アンケート回答 15名 (回収率88.2%)

1-1主たる職種

看護職	6
薬剤師	1
ケアマネジャー	1
相談員等	4
看護補助者	1

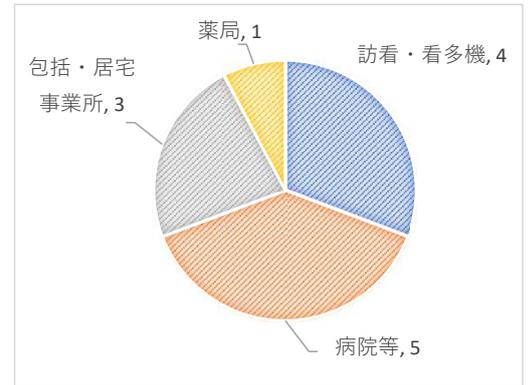
1-1主たる職種

n = 15 (名)



1-2施設種別

n = 15 (名)



1-2施設種別

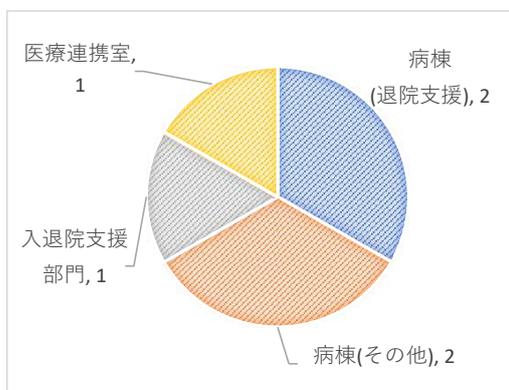
訪看・看多機	4
病院等	5
包括・居宅事業所	3
薬局	1

1-3病院看護職の所属

病棟(退院支援)	2
病棟(その他)	2
入退院支援部門	1
医療連携室	1

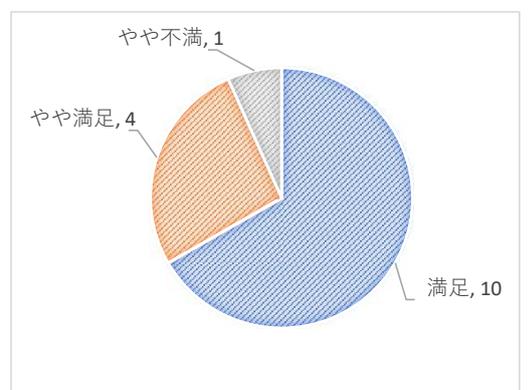
1-3病院看護職の所属

n = 6 (名)



2-1活動報告の満足度

n = 15 (名)



2-1活動報告の満足度

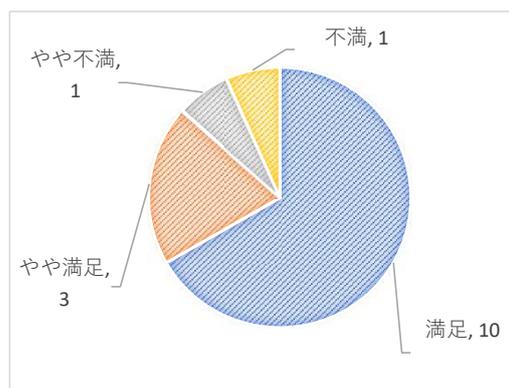
満足	10
やや満足	4
やや不満	1
不満	0

2-2意見交換の満足度

満足	10
やや満足	3
やや不満	1
不満	1

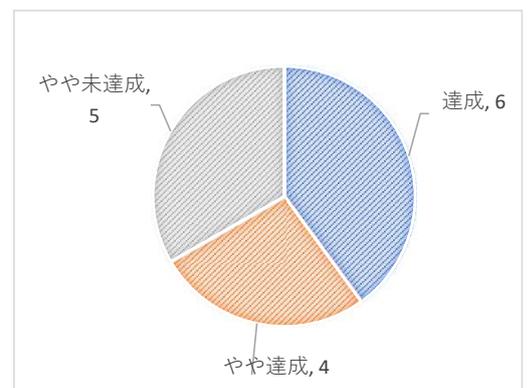
2-2意見交換の満足度

n = 15 (名)



3目標の達成度

n = 15 (名)



3目標の達成度

達成	6
やや達成	4
やや未達成	5
未達成	0

4参加のきっかけ (複数選択可)

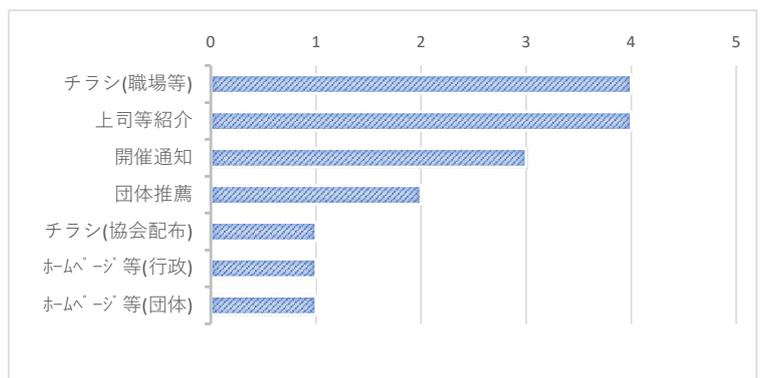
チラシ(職場等)	4
上司等紹介	4
開催通知	3
団体推薦	2
チラシ(協会配布)	1
ホームページ等(行政)	1
ホームページ等(団体)	1

(訪看等3、病院等)
 (病院等3、訪看等1)
 (包括等・訪看等・病院等)
 (病院等)
 (包括等)
 (薬局)
 (包括等)

※複数回答1名 チラシ(職場)、上司等紹介

4参加のきっかけ (複数選択可)

n = 15 (名)



達成度に関する自由記載（要約）

【達成・やや達成】

- 多職種ならではの違う意見や悩み、苦労など共有できた、新しい情報や有意義な情報を得られた。（5）
- どの職種も連携の必要性を感じてその方法を模索していることが分かった。
- 講演（薬剤師、栄養士の活動等）を聞き、勉強になった。
- 退院時、介護士からも細かな情報提供ができるよう、伝達方法を見直したい。

【やや未達成】

- まずは自身の地域状況を把握する必要があると思った。
- 多職種の活動について知識不足のまま参加したため、目標達成まで至らなかった。
- グループメンバーが多職種すぎて、テーマに沿った話し合いが難しかった。
- 活動報告とグループディスカッションの連動がなく、地域や所属の違うメンバーだったため、お互いの違いに対する交流が中心になった。

感想等（要約）

- 職場内ではグループワークがある事で参加を躊躇する声があるが、自身の知識向上のために参加を勧めていきたい。
- 他市町村の多職種とかかわる機会はあまりなく、定期的開催してほしい。
- 今後の業務に活かしていきたい。
- 経験が少なくグループディスカッションに不安があったが、対等な関係で話し合うことができた。また参加したい。
- 参加者が少なく、職種がバラバラで話し合いが難しかった。ファシリテーターがいると良かった（4）
- オンラインは意見が出にくい面があるので、できれば会場開催に参加したい（2）
- もっと参加者が多いと、もっと活性化して成果があると思う（2）
- 地域性を考慮したグループとした方が具体的なディスカッションが出来ると思った。
- 自身の生活圏での連携先について情報を得たい。
- テーマが抽象的だったため、議論というよりはそれぞれの地域特性や業務内容の情報交換にとどまってしまった。時間が長い場合、テーマを明確にして細かく区切る、メンバーを入れ替えるなどの方が良い話し合いになると思う。